

秩父音頭まつり

秩父音頭は、大正の末期、秩父の俳人金子伊昔紅が、この踊りを

本来の姿に近づけ、広く一般より募集した歌詞を加え、秩父豊年踊りとして、初めて公の場に披露しました。

それ以来秩父は言うに及ばず、埼玉県二円で急速に踊り唄われるようになり、昭和25年には埼玉県の筆頭民謡として取り上げられ、その名も秩父音頭と改名され、現在に至っております。

つきましては、第50回秩父音頭まつりを記念して、唄いやすく後世まで残る新作の「秩父音頭歌詞」「はやし言葉」を募集いたしますので、多数のご応募をお待ち申し上げます。

第50回特別企画

- 内容 皆野町や秩父地域の生活、文化、名勝、旧跡、行事など。
- 形式 ●歌詞…「七・七・七・五」で表現が豊かで心に伝わり、唄いやすく調子の良いもの。
●はやし言葉…秩父音頭のはやし言葉は「そうとも、そうとも、そうだんべ、アチャムシダンベにつるし柿…」など秩父気質を風刺したもの、方言を読み込んだもの、いずれも馴染み深い傑作があり、秩父音頭を盛り上げる中で「はやし言葉」のもつ意義や効果は大きいものがある。
- 応募方法 「歌詞」また「はやし言葉」で、1人計2点まで応募できます。
(例：歌詞2点・歌詞1点+はやし言葉1点・はやし言葉2点)
用紙は自由で、歌詞・はやし言葉を明記し新作を記載し、住所・氏名・電話番号を記入してください。
- 選者 伊東 乾(東京大学 作曲・指揮研究室 准教授)(予定)
- その他 優秀作品には、秩父音頭まつり実行委員会より賞品を授与。また、8月14日(火)の第50回秩父音頭まつりにて発表・披露させていただきます。

平成30年6月29日(金)必着

郵送、FAXでご応募ください。

主催 ■ 第50回秩父音頭まつり実行委員会(皆野町商工会内)
〒369-1412 埼玉県秩父郡皆野町皆野1423

tel 0494・62・1311 fax 0494・62・4444

応募用紙

・ 歌詞 ・ はやし言葉	
・ 歌詞 ・ はやし言葉	

(どちらかに○印)

氏名 (一般・中学生・小学生) 電話

住所